

白田さん（八学大）交流協進会賞

カクテルなどの商品化提案

青森県は7日、県内の学生を対象にした、台湾と青森の食を生かしたビジネスプランコンテストの表彰式を青森市で開いた。スイーツとアルコールがテーマで、台湾の酒と県産の果物を組み合わせたカクテルなどの商品化を提案した八戸学院大2年の白田環暉さん（20）＝野辺地町在住＝のプランが「台日商務交流協進会賞」に選ばれた。

県内の産学官金で構成する「イノベーション・ネットワークあおもり」（代表・三村申吾知事）は、



ビジネスプランコンテストで台日商務交流協進会賞に選ばれた白田環暉さん（7日、青森市）

2018年に台湾の経済団体「台日商務交流協進会」、台北市進出口商業同業公会」と経済交流に関する覚書を締結。コンテストもこの一環で、若者の新たな発想によるビジネス創出や、経済交流に挑戦する人材育成につなげようと初めて開催した。

審査は台湾の強みを生かし、青森の食をどうブラッシュアップするかをポイントに行われた。

白田さんは、台湾人に人気のコーリアン酒と県産リンゴやサクランボなどを掛け合わせたカクテルとノンアルコールカクテル、その素材となるシロップを商品化するプランを提案。同協進会の鄭文哲顧問は台湾人の好みを生かした分析力を高く評価した。

表彰を受けた白田さんは「カクテルにはまついて、お酒に弱い友達と飲めたらと思う、ノンアルコールも考案した。商品化に興味がある企業があればぜひ一緒に取り組みたい」と話した。

（玉川那津美）